

厚生労働科学研究の 成果目標等について

平成18年3月8日

厚生労働省

厚生労働科学研究の成果目標等と 内閣府の分野別推進戦略について

- 厚生労働省は厚生労働科学研究の成果目標等(平成18年2月1日部会審議)を内閣府に提出。
- 内閣府は各省の成果目標等を取りまとめつつ、政府全体の第3期科学技術基本計画における分野別推進戦略を現在検討中。

ライフサイエンス分野
推進戦略

厚生労働科学研究
の成果目標等

ナノテク・
材料分野
推進戦略

「分野別推進戦略」とは

第3期科学技術基本計画の中で、科学技術の戦略的重点化を図るとされた「政策課題対応型研究開発」を8分野に分類し、各分野毎の課題等をまとめたもの。

科学技術の戦略的重点化

基礎研究

政策課題対応型研究開発 〔選択と集中の一層の徹底〕

- 重点推進4分野
(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)
- 1 及び 推進4分野
(エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティア)
- 2 分野内の重点投資

分野別推進戦略

平成18年2月28日 総合科学技術会議本会議資料より改変

2

分野別推進戦略案の検討状況 ～ 各分野における重要な研究開発課題の例 ～

- ◆ 「重要な研究開発課題」毎に、最終的な社会・国民への還元の目標(成果目標)を設定。「重要な研究開発課題」に対する各省の研究開発の推進が、政策目標の実現に貢献。

ライフサイエンス分野

政策目標

生涯
はつらつ
生活

成果目標

2015年までに、生活習慣病改善のための施策の実施とともに、生活習慣病予防や治療に資する科学技術の開発を推進し、がんの罹患率や生存率、心疾患及び脳卒中の死亡率、糖尿病の発生率を改善させる。

【重要な研究開発課題】～ 国民を悩ます重要な疾患に関する研究開発

研究開発目標例

がん、免疫・アレルギー疾患、生活習慣病、骨関節疾患、腎疾患、臓器疾患等の予防・診断・治療の研究開発

- ◎ 2015年までに、疾患メカニズムの解明の加速、診断機器の高度化等による創薬プロセスの高度化を実現するとともに、個人の特性を踏まえた、生活習慣病や難病の予防・早期診断・先端医療技術を実現する。

平成18年2月28日 総合科学技術会議本会議資料より改変(目標等は今後の議論により修正される可能性がある)

3

分野別推進戦略案の検討状況
～ 戦略重点科学技術と推進方策 ～

- ◆ 重要な研究開発課題の中から「戦略重点科学技術」
(基本計画期間中において集中投資の必要がある研究開発)
を絞り込み。(選択と集中)

戦略重点科学技術の要件

- 1 社会・国民が直面する課題 に対し 迅速・的確に対応
- 2 国際競争に勝ち抜く上で不可欠
- 3 国家基幹技術 (国家的目標・長期戦略により取り組む大規模プロジェクト)

- ◆ 「活きた戦略」とするための 推進方策 を検討。
個別分野毎の 人材育成策 や 制度的隘路の解消 など。

平成18年2月28日 総合科学技術会議本会議資料より改変 4

今後の予定

- ◆ 次回総合科学技術会議本会議(3/22)で
「分野別推進戦略」が決定される見込み。
- ◆ 平成18年4月から分野別推進戦略に則り、
政府研究開発を 戦略的に推進。

平成18年2月28日 総合科学技術会議本会議資料より改変 5

